

# 令和4(2022)年度 とちぎネットアンケート結果

## 第10回 「とちぎの公共交通について」

### 1 調査目的

バス運転手の高齢化や不足等によって、地域住民や観光客の移動需要に応じた公共交通の確保・充実が困難となっている中で県民の公共交通に関するニーズなどを把握するため調査を実施します。

(担当課: 県土整備部交通政策課)

### 2 調査概要

#### (1) 調査対象者

954名 (とちぎネットアンケート協力者)

#### (2) 調査期間

令和4(2022)年11月1日 ~ 11月14日

#### (3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。電子申請により回答

### 3 回答者属性

回答数 424 名 (回答率44.4%)

#### (1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	207	48.8 %
女性	215	50.7 %
答えたくない、わからない、その他	2	0.5 %
計	424	

#### (2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	3	0.7 %
20代	12	2.8 %
30代	40	9.4 %
40代	105	24.8 %
50代	108	25.5 %
60代	95	22.4 %
70代以上	61	14.4 %
計	424	

#### (3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	208	49.0 %
県南	116	27.4 %
県北	100	23.6 %
計	424	

#### (注)

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

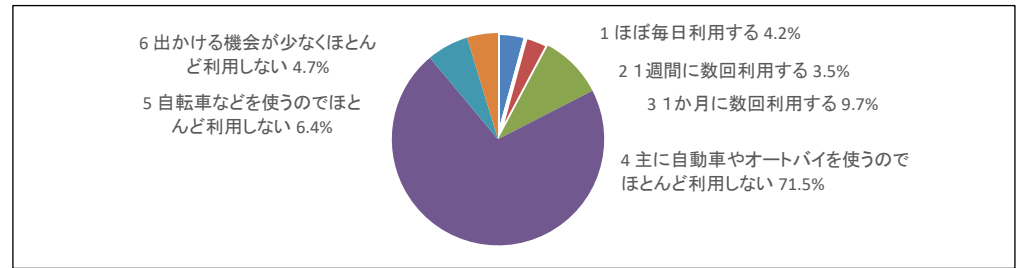
#### 4 調査結果

問1 あなたは、鉄道やバスなどの公共交通機関をどれくらい利用していますか。

※公共交通機関とは、鉄道やバスだけでなく、コミュニティバスやデマンド交通なども含みます。

	構成比	回答数
1 ほぼ毎日利用する	4.2%	18
2 1週間に数回利用する	3.5%	15
3 1か月に数回利用する	9.7%	41
4 主に自動車やオートバイを使うのでほとんど利用しない	71.5%	303
5 自転車などを使うのでほとんど利用しない	6.4%	27
6 出かける機会が少なくほとんど利用しない	4.7%	20

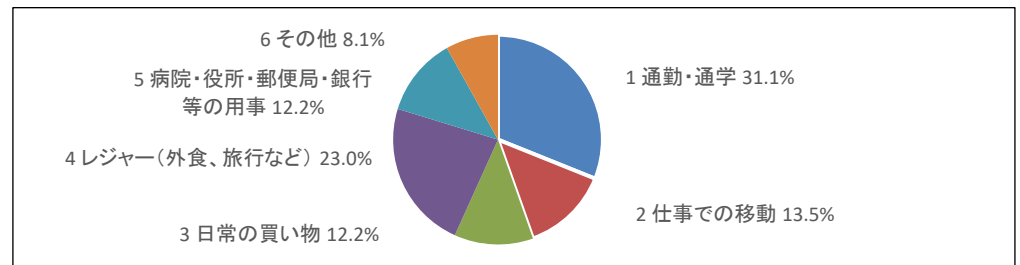
( n = 424 )



問2 (問1で選択肢1、2、3を選んだ方にお聞きします。) あなたが公共交通機関を利用する主な目的は何ですか。

	構成比	回答数
1 通勤・通学	31.1%	23
2 仕事での移動	13.5%	10
3 日常の買い物	12.2%	9
4 レジャー(外食、旅行など)	23.0%	17
5 病院・役所・郵便局・銀行等の用事	12.2%	9
6 その他	8.1%	6

( n = 74 )



〔その他の主な意見〕

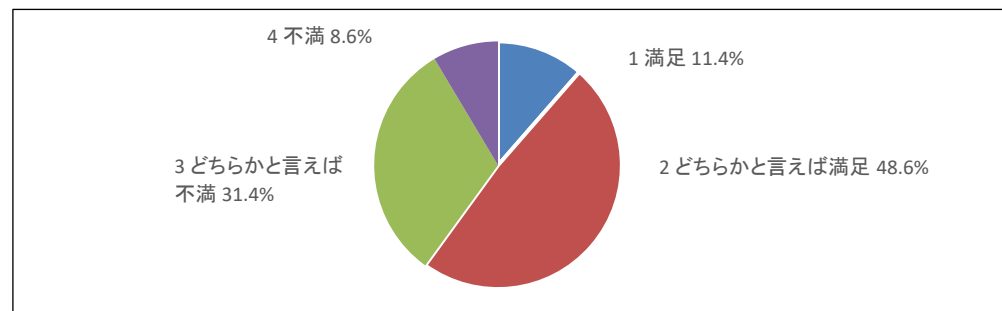
試験の受験、研修(他類似意見2件)

東京に住んでいる息子や娘のところへ行く(他類似意見2件)

問3 (問1で選択肢1、2、3を選んだ方にお聞きします。) あなたは公共交通機関のサービスや運行状況について満足していますか。

	構成比	回答数
1 満足	11.4%	8
2 どちらかと言えば満足	48.6%	34
3 どちらかと言えば不満	31.4%	22
4 不満	8.6%	6

( n = 70 )

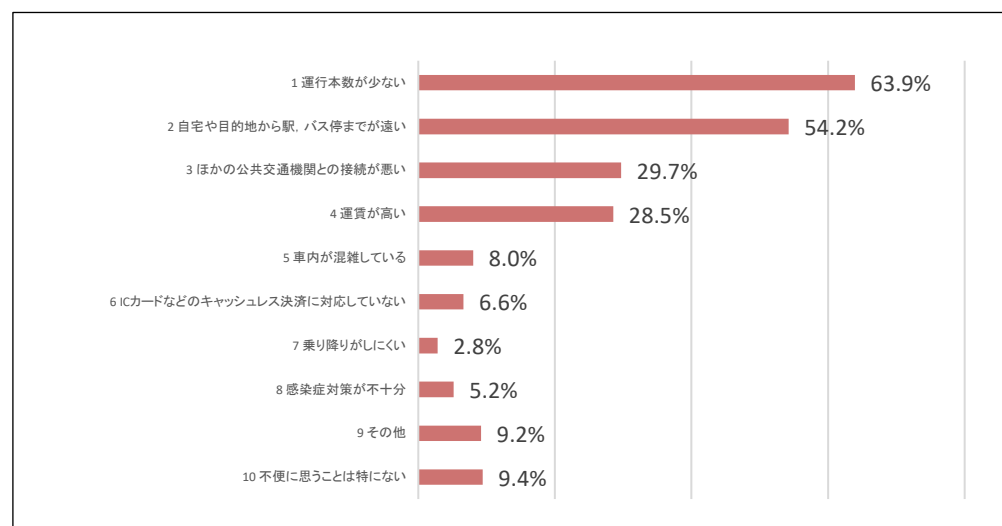


問4 あなたが公共交通機関に不便を感じる点を教えてください。(3つまで回答)

※公共交通機関を利用する方も利用されない方もお答えください。

	構成比	回答数
1 運行本数が少ない	63.9%	271
2 自宅や目的地から駅、バス停までが遠い	54.2%	230
3 ほかの公共交通機関との接続が悪い	29.7%	126
4 運賃が高い	28.5%	121
5 車内が混雑している	8.0%	34
6 ICカードなどのキャッシュレス決済に対応していない	6.6%	28
7 乗り降りがしにくい	2.8%	12
8 感染症対策が不十分	5.2%	22
9 その他	9.2%	39
10 不便に思うことは特にない	9.4%	40

( n = 424 )



〔その他の主な意見〕

一日乗車券とか乗り継ぎ割引があると良い。バスの行き先表示を見やすいものに工夫してほしい。色や形のステッカーなどで表示し、老眼でも確認しやすいように(運行状況等の表示に関する類似意見3件)

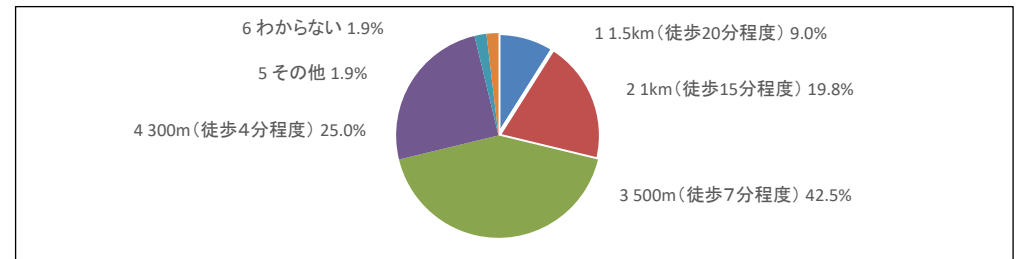
バスが定時運行できていない(他類似意見4件)

移動の自由度が少ない。行きたい時に行きたい所に移動できない。行きは良くても、帰りの便が不便。(他類似意見10件)

問5 あなたが公共交通機関を利用しようとするとき、自宅から駅やバス停までの距離は、どの程度なら利用したいと思いますか。(徒歩移動を想定)

	構成比	回答数
1 1.5km(徒歩20分程度)	9.0%	38
2 1km(徒歩15分程度)	19.8%	84
3 500m(徒歩7分程度)	42.5%	180
4 300m(徒歩4分程度)	25.0%	106
5 その他	1.9%	8
6 わからない	1.9%	8

( n = 424 )



〔その他の主な意見〕

駅まで約4キロメートルあり、そこまでの公共交通機関がない、また、デマンドタクシーはあるが利用する時間と曜日が限られているので利用する機会がない。  
徒歩で30分以上かかるとき

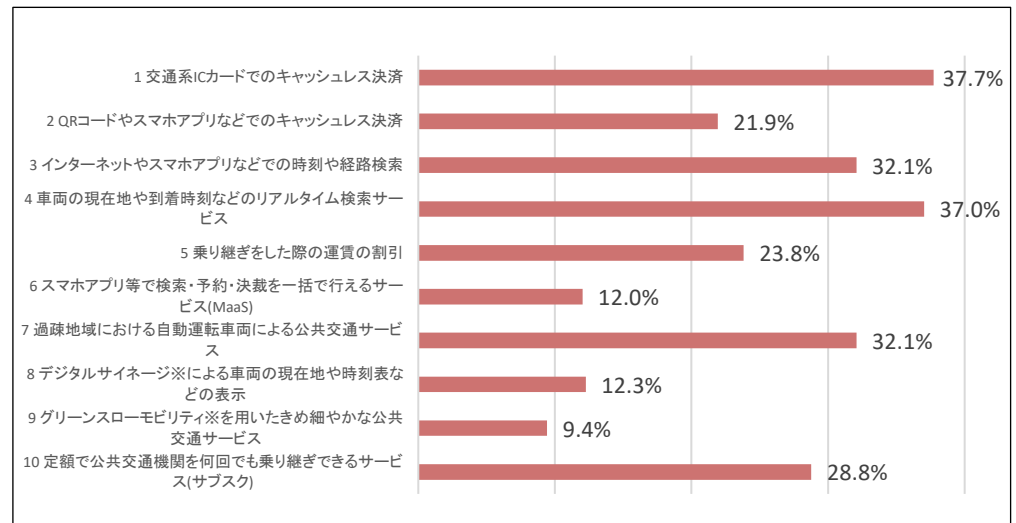
問6 あなたは、公共交通機関に関する新たなサービスのうち、どのようなサービスを求めていますか。(3つまで回答)

※デジタルサイネージとは、ディスプレイなどの電子表示機器で情報を発信するメディアのことです。

※グリーンスローモビリティとは、時速20km未満で走行する電気自動車を用いた移動サービスのことです。

	構成比	回答数
1 交通系ICカードでのキャッシュレス決済	37.7%	160
2 QRコードやスマホアプリなどでのキャッシュレス決済	21.9%	93
3 インターネットやスマホアプリなどでの時刻や経路検索	32.1%	136
4 車両の現在地や到着時刻などのリアルタイム検索サービス	37.0%	157
5 乗り継ぎをした際の運賃の割引	23.8%	101
6 スマホアプリ等で検索・予約・決裁を一括で行えるサービス(MaaS)	12.0%	51
7 過疎地域における自動運転車両による公共交通サービス	32.1%	136
8 デジタルサイネージ※による車両の現在地や時刻表などの表示	12.3%	52
9 グリーンスローモビリティ※を用いたきめ細やかな公共交通サービス	9.4%	40
10 定額で公共交通機関を何回でも乗り継ぎできるサービス(サブスク)	28.8%	122

( n = 424 )

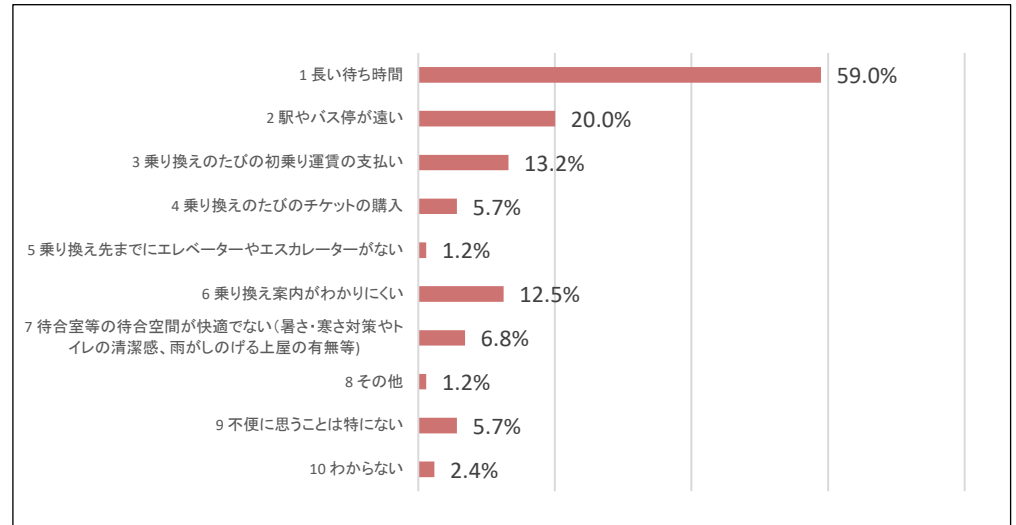


問7 あなたは、公共交通機関の乗り換え(※)について、どのような点に不便さを感じますか。(3つまで回答)

※乗り換えは、駅内外の乗換、電車からバスやタクシー等の乗り換え、バスから電車やタクシー等の乗り換えなどあらゆる公共交通機関間の乗り換えを想定してお答えください。

	構成比	回答数
1 長い待ち時間	59.0%	250
2 駅やバス停が遠い	20.0%	85
3 乗り換えのたびの初乗り運賃の支払い	13.2%	56
4 乗り換えのたびのチケットの購入	5.7%	24
5 乗り換え先までにエレベーターやエスカレーターがない	1.2%	5
6 乗り換え案内がわかりにくい	12.5%	53
7 待合室等の待合空間が快適でない(暑さ・寒さ対策やトイレの清潔感、雨がしのげる上屋の有無等)	6.8%	29
8 その他	1.2%	5
9 不便に思うことは特にない	5.7%	24
10 わからない	2.4%	10

( n = 424 )



〔その他の主な意見〕

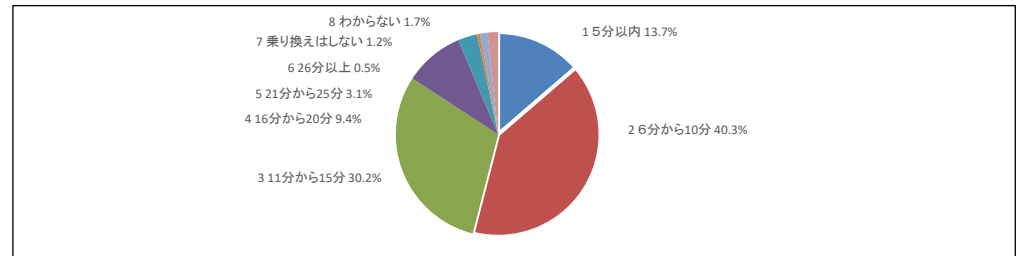
スムーズに乗り換えするために調べるアプリが乏しい(電車もバスも本数が少ないためでしょうか、調べるツールが使いづらい、とくにバス)

車椅子であるがゆえに無人駅では下車できない、足利フラワーパーク駅などでは事前にJR側ヘスロープを設置してもらおう人員の確保が必要、こういった労力に疲れる

問8 あなたは、鉄道やバスなどの公共交通機関の乗り換え時間について、どの程度なら利用したいと思いますか。

	構成比	回答数
1 5分以内	13.7%	58
2 6分から10分	40.3%	171
3 11分から15分	30.2%	128
4 16分から20分	9.4%	40
5 21分から25分	3.1%	13
6 26分以上	0.5%	2
7 乗り換えはしない	1.2%	5
8 わからない	1.7%	7

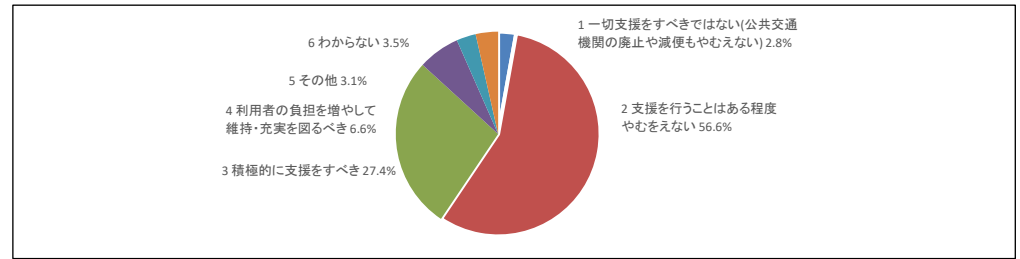
( n = 424 )



問9 あなたは、赤字の公共交通機関を維持するために、国や地方自治体などの行政が支援を行うことについてどう思いますか。

	構成比	回答数
1 一切支援をすべきではない(公共交通機関の廃止や減便もやむえない)	2.8%	12
2 支援を行うことはある程度やむをえない	56.6%	240
3 積極的に支援をすべき	27.4%	116
4 利用者の負担を増やして維持・充実を図るべき	6.6%	28
5 その他	3.1%	13
6 わからない	3.5%	15

( n = 424 )



〔その他の主な意見〕

インフラは自治体で維持すべき。その上で各社に乗り継ぎ、乗り入れの工夫をお願いします(その他支援すべき又は支援はやむをえないという意見5件)

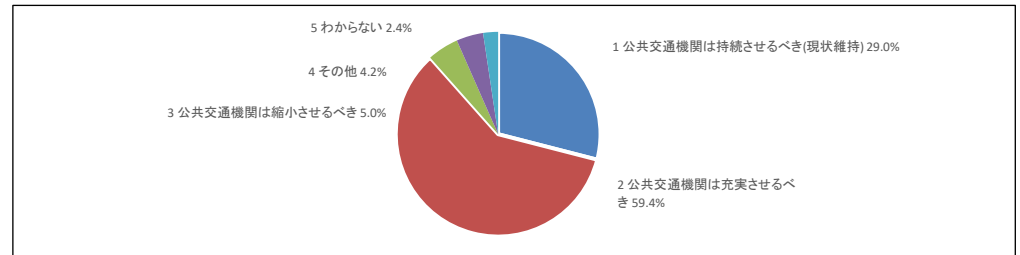
交通機関の運営に要する無駄な経費(昼間の番線ホームの漫然照明等)は、消灯もしくはLED化すれば相当な経費を節減できるはず。なぜ対策しないのか不思議。改善対策抜きで支援しても焼け石に水と思います。(その他類似意見1件)

支援をすべきでは無いが、その地域の特徴を鑑み対応すべき

問10 これからの公共交通機関のあり方について、あなたの考え方に最も近いものを一つ選んでください。

	構成比	回答数
1 公共交通機関は持続させるべき(現状維持)	29.0%	123
2 公共交通機関は充実させるべき	59.4%	252
3 公共交通機関は縮小させるべき	5.0%	21
4 その他	4.2%	18
5 わからない	2.4%	10

( n = 424 )



〔その他の主な意見〕

公共交通機関は拡充すべきと考えます。(他類似意見3件)

時代、利用状況に合わせ、変化(充実・現状維持・縮小)させるべき。(他類似意見9件)